

【 メディア・スクリーンセーバー 】

この度は、メディア・スクリーンセーバーをダウンロード頂きまして、誠にありがとうございます。

◎ メディア・スクリーンセーバーについて ◎

本ソフトウェアは、スクリーンセーバーとして画面に表示させる画像を、任意の WEB サーバーから自動的にダウンロードして表示できるソフトウェアです。一度ダウンロードした後にサーバへのアクセスをさせなくする機能も有しますので、無駄なサーバアクセスを回避できます。

◎ 動作環境 ◎

Windows 7、Windows 8、Windows 10
.NetFrameWork4.5 以上

◎ インストール方法 ◎

本プログラムはポータブル形式です。
ZIP ファイルを適当なフォルダに解凍し、エクスプローラを使って、スクリーンセーバーの本体「.scr」ファイルを右クリックして、「インストール」を選択してください。
.NetFrameWork 4.5 以上がインストールされている環境で実行してください。

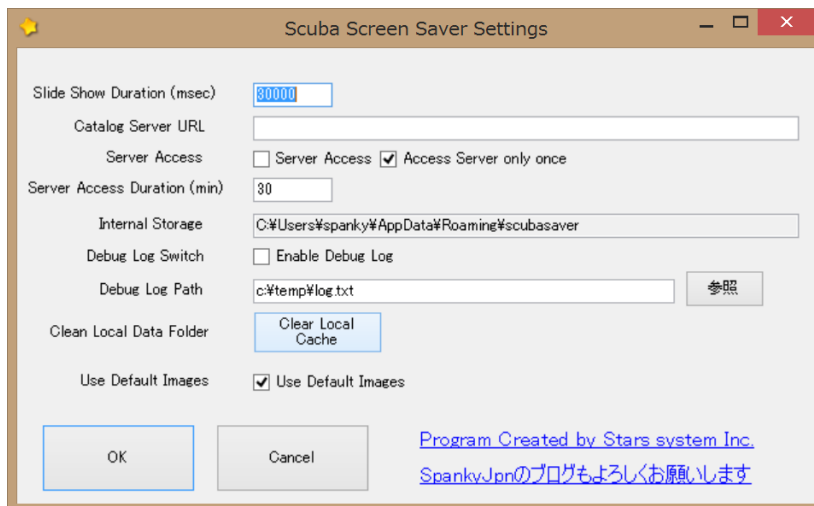
◎ アンインストール方法 ◎

解凍していたファイルをすべて削除すれば完了です。

◎ 使用方法 ◎

【設定画面】

本プログラムをエクスプローラの右クリックから「インストール」するか、デスクトップを右クリック→個人設定→スクリーンセーバーと進んでいき、スクリーンセーバーの管理画面から「設定」をクリックすると、本画面が表示されます。



設定項目の説明

- 「Slide Show Duration」・・・ 1 枚の画像を表示させる時間をミリ秒で指定します。
 - 「Catalog Server URL」・・・ カタログサーバの URL を指定します。詳細は後述します。
 - 「Server Access」・・・ サーバにアクセスするかどうかを指定します。
 - 「AccessServerOnlyOnce」・・・ サーバに 1 回だけアクセスしたいときにチェックします。
 - 「ServerAccessDuration」・・・ カタログファイルを読み出す間隔を分単位で指定します。
 - 「DebugLogSwitch」・・・ 動作ログを取得する場合にチェックします。
 - 「DebugLogPath」・・・ 動作ログの保存場所を指定します。
 - 「CleanLocalDataFilder」・・・ 画像ファイルのキャッシュを削除します
 - 「UseDefaultImages」・・・ 本プログラムに内蔵されている 3 種類の画像の使用有無を指定。
- 「Internal Storage」・・・ 画像ファイルがキャッシュされている場所を示します。
※この項目は読み出しのみで、設定はできません。

【独自の画像を使用する際の操作方法】

本プログラムには、サンプルとして3種類の画像が同梱されています。「useDefaultImages」を ON（規定値）にすることで、このサンプル画像を利用できるようになりますが、この画像を使用せず、完全に独自の画像を使う場合、以下の手順で設定画面を操作してください。

1. WEB サーバに画像とカタログファイルを用意する。（方法は後述します）
2. 本プログラムの設定画面を開く
3. 「Clear Local Cache」 ボタンを押して、ローカルに保存されている画像を消去する。
※ボタン押下で設定情報も初期化されます。
4. 「UseDefaultImages」 のチェックをはずす。
5. カatalogサーバの URL を設定する。
6. 「ServerAccess」 にチェックを入れてサーバへのアクセスを許可する。
7. 設定画面の「OK」 ボタンを押下する。

これで、サーバからダウンロードする画像だけを表示させることができます。

サーバから画像をダウンロードしてくるまでは、スクリーンセーバーにはなにも表示されません。

【カタログサーバの利用方法】

本ソフトウェアは、任意のWEBサーバ上に保存した画像ファイルをダウンロードしてスクリーンセーバーとして表示させることができます。以下に、WEBサーバ上への画像ファイルの配置方法を説明します。

【画像ファイルの配置】

本ソフトウェアからダウンロードさせたい画像を、任意のWEBサーバに保存してください。WEBブラウザのアドレスバーに画像のURLを入力して、画像がブラウザに表示されることを確認しておいてください。例えば、www.myphotodata.co.jp というドメインのWEBサーバのWWWフォルダの直下に img001.jpg という名前のファイルを保存した場合の、画像のURLは「http://www.myphotodata.co.jp/img001.jpg」となります。

【カタログファイル】

本ソフトウェアは、WEBサーバ上に置かれた画像をダウンロードするために、カタログファイルという、画像ファイル名のURLが列挙されたテキストファイルを必要とします。1つのURLを1行に書くようにしてください。以下は、カタログファイルのサンプルです。これを、やはり画像と同じようにURLを指定してファイルを取り込むことができるように、WEBサーバに保存してください。このサンプルが示しますように、画像ファイルは、どのWEBサーバに散在していてもかまいません。URLを指定して画像が読み込めればOKです。

カタログファイルのサンプル

```
http://110.110.200.101/images/img001.jpg  
http://110.110.200.101/images/img002.jpg  
http://www.myphotodata.co.jp/img003.jpg  
http://www.myphotodata.co.jp/img004.jpg
```

【カタログファイルの設定方法】

画像とカタログファイルをWEBサーバに保存したら、本ソフトウェアの設定画面を開きます。設定画面の「Catalog Server URL」に、カタログファイルのURLを設定して、設定項目の「Server Access」にチェックを入れてください。これで、スクリーンセーバーが起動すると30分おきにカタログサーバをチェックしにいき、ローカルにキャッシュされていない画像があれば随時ダウンロードしてスクリーンセーバーとして表示します。

もしも、サーバに頻繁に画像をアップロードしないのであれば、設定項目の「AccessServerOnlyOnce」にチェックを入れておけば、一度だけサーバから画像をダウンロードしたあとは、自動的に設定項目の「Server Access」のチェックをOFFにします。

◎ 作者への連絡方法 ◎

質問やご意見などは下記のメールアドレスへお願いします。ソフトウェア開発のご相談等も受け付けております。

Fritz の別名： Spankyjpn （ブログ用ハンドルネーム）
メールアドレス： hfritz@yahoo.co.jp
ホームページ： <http://www.spanky-world.com/>
ブログ： <http://www.spankyjpn.com/>

◎ 変更履歴 ◎

バージョン	日付	備考
1.0.0.0	2017.03.23	初版作成
1.1.0.0	2017.03.25	ログ出力の方法変更

【免責事項】

- 『メディア・スクリーンセーバー』は、なんらの予告なくプログラムの仕様を変更することがありますが、これを原因として発生した損失や損害について、作者である Fritz (及び Fritz の関係者) は、一切責任を負いません。
- 『メディア・スクリーンセーバー』を使用する（もしくは使用できない）ことにより発生した損失や損害に関して、作者である Fritz (及び Fritz の関係者) は一切責任を負いません。
- 『メディア・スクリーンセーバー』に関しまして、Fritz (及び Fritz の関係者) は、いかなる保証も致しません。また、いかなる責任も負いません。本ソフトウェアの使用は、ユーザーの自己責任において行ってください。

【著作権】

- 『メディア・スクリーンセーバー』に関する著作権は作者である Fritz に帰属します。

【禁止事項】

- Fritz 本人からの許可なく本ソフトウェアを改ざんしたり、販売したり、リバースエンジニアリングを行ったり、インターネットにアップロードしたりすることは禁止します。このような行為が必要な方は、必ず作者である Fritz から了承を得てください。

【注意事項】

- 『メディア・スクリーンセーバー』を使用する場合は、先ず重要なファイルのバックアップを取ってから作業されることをお勧めします。